

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10581003				
授業名	経済構造と経済政策 B	形態	講義	単位	2
担当教員	渡邊 翔				
開講学期	2025年度 後学期	曜日・時限	月曜4限		
授業目的	現代経済の基本的な概念と政府の役割を理解し、現代社会の諸問題への解決策を考える力を身に付ける。				
授業内容	経済学を初めて学ぶ人に向けて授業を進める。経済学の基本的な概念と政府の役割を理解する。われわれが直面する現代社会の諸問題への解決策を考える。				
到達目標	経済学の基本的な概念と政府の役割を理解する。 現代社会の諸問題において課題を抽出し、その解決に向けた政策を理解できる。				
ディプロマポリシーとの関連性	<大DP1-(5)> 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。				
授業形態	講義形式を中心に行う。授業内で理解すべきポイントを提示し、テキストを読み、質問に答えるなど、主体的な学修の基礎作りを行う。また、授業内において、クラスプロファイルを活用して小課題を提出し、ディスカッションを行うなど、アクティブラーニングを採り入れる。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	クラスプロファイルへ提出されたレポートと授業内で行う授業内課題で総合評価する。				
評価基準	授業内課題：75点、レポート：25点				
試験・レポート等のフィードバック	授業内課題、レポートについて、授業内で解説を行う。				
注意事項及び履修条件	経済に関心があり、現代社会の諸問題へ疑問を持つ習慣をつけていることが望ましい。				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	シラバスを読み、授業全体のイメージをもつ。
授業内容	この授業についてガイダンスを行い、到達目標や評価方法について確認する。 経済学とはどのような学問か理解する。
事後学習	ガイダンスをもとに、シラバスを確認する。
参考文献	
第2回	
事前学習	前回の授業で指示した課題について考えをまとめておくこと。
授業内容	経済学の基本的な考え方を学ぶ。経済学の十大原理について理解する。
事後学習	授業で取り上げた現代社会の諸問題について、解決策を考える。
参考文献	
第3回	
事前学習	前回の授業で指示した課題について考えをまとめておくこと。
授業内容	経済学の基本的な考え方を学ぶ。ミクロ経済学とマクロ経済学の違いについて理解する。
事後学習	授業で取り上げた現代社会の諸問題について、解決策を考える。
参考文献	
第4回	
事前学習	前回の授業で指示した課題について考えをまとめておくこと。
授業内容	相互依存と交易の利益について学ぶ。比較優位について理解し、現代社会が抱える国際経済の諸問題の解決策を考える。
事後学習	授業で取り上げた現代社会の諸問題について、解決策を考える。
参考文献	
第5回	

事前学習	前回の授業で指示した課題について考えをまとめておくこと。
授業内容	需要と供給Ⅰ：完全競争市場 完全競争市場、需要と供給について理解する。
事後学習	練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第6回	
事前学習	前回の授業で指示した練習問題を解き、復習を行う。
授業内容	需要と供給Ⅱ：市場均衡 市場均衡について理解する。また、価格が変化した時に需要と供給がどう変化するか理解する。
事後学習	練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第7回	
事前学習	前回のレジュメを読み、市場均衡について理解しておくこと。
授業内容	余剰分析Ⅰ：消費者余剰と生産者余剰 消費者余剰と生産者余剰について図や数式を用いて理解する。
事後学習	練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第8回	
事前学習	政府の税金や補助金政策について調べ、まとめておく。
授業内容	余剰分析Ⅱ：税金や補助金の効果 税金や補助金の効果を余剰分析を用いて理解する。
事後学習	授業で取り上げた現代社会の諸問題について、解決策を考える。
参考文献	

第9回	
事前学習	前回の授業で指示した課題について考えをまとめておくこと。
授業内容	市場の失敗について学ぶ。負の外部性とその解決策を考える。
事後学習	授業で取り上げた現代社会の諸問題について、解決策を考える。
参考文献	

第10回	
事前学習	日本の国内総生産について調べる
授業内容	所得と物価Ⅰ：国内総生産 国内総生産がどのように決定されるか理解する。
事後学習	名目GDPと実質GDPの違いについて説明する。
参考文献	

第11回	
事前学習	日本の物価について調べる。
授業内容	所得と物価Ⅱ：消費者物価指数と実質金利 消費者物価指数がどのように決定されるか理解する。
事後学習	練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第12回	
事前学習	日本の生産性について調べる。
授業内容	生産と成長：生産性 生産性について理解するとともに、生産性の決定要因について学ぶ。
事後学習	生産性の決定要因についてまとめる。
参考文献	

第13回	
事前学習	日本の金融システムについて調べる。
授業内容	金融システムⅠ：金融システムと経済成長 金融システムの3つの機能について理解する。
事後学習	授業で取り上げた現代社会の諸問題について、解決策を考える。
参考文献	

第14回	
事前学習	中央銀行が行っている金融政策について調べ、どのような手法が用いられているかまとめる。
授業内容	金融システムⅡ：貨幣の役割と金融政策 貨幣の役割と金融政策について理解する。
事後学習	授業で取り上げた現代社会の諸問題について、解決策を考える。
参考文献	

第15回	
事前学習	政府の財政政策について調べ、どのような手法が用いられているかまとめる。
授業内容	景気循環のメカニズム：総需要と総供給 総需要曲線と総供給曲線を用いて価格や物価が決まる仕組みを理解する。
事後学習	授業で取り上げた現代社会の諸問題について、解決策を考える。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>&lt;大DP-1&gt; 【社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】</p> <p>&lt;大DP1-（1）&gt; 日本語や英語のコミュニケーション能力を修得している。</p> <p>&lt;大DP1-（2）&gt; 情報リテラシーや数量的スキルを修得している。</p> <p>&lt;大DP1-（3）&gt; 課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身に付けている。</p> <p>&lt;大DP1-（4）&gt; 自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。</p> <p>&lt;大DP1-（5）&gt; 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。</p> <p>&lt;大DP-2&gt; 【専門教育分野における知識・技能・能力】</p> <p>&lt;大DP2-（1）&gt; 自らが学んだ学位プログラムの基礎となる原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。</p> <p>&lt;大DP2-（2）&gt; 修得した体系的専門知識を、実践の場において活用する技能や態度を修得している。</p>
-----------	---